

第58回中日理論言語学研究会 2023年5月14日

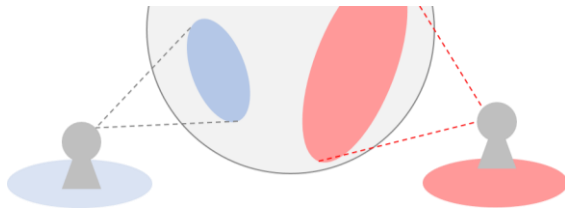
## 感嘆文をどう捉えるか —推論との関係を中心に

高山善行（福井大学）

### 主張

- 1) 感嘆文の成立条件、仕組みについては、まだ解明されておらず、**新しい視点**からの検討が必要である。
- 2) ある種の感嘆文の成立には推論が関わっている。**規範と事態のギャップ**が〈感嘆〉を生じさせる。
- 3) 感嘆文には感情的側面だけでなく**思考的側面**もある。今後は、この両面を捉えていくべきである。

### 1. はじめに

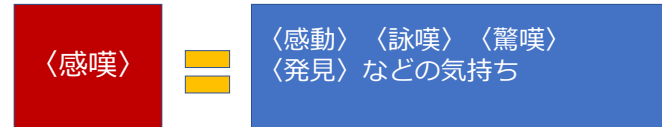


#### (1)定義

「感嘆文とは、物事のありようが誘因となって引き起こされる**話し手の驚き・感動などを表した文**である。」

『日本語文法事典』（仁田義雄、赤字：高山）

## (2)本発表の用語



## (3)現代語

- a. ああ! [感動詞]
- b. おもしろい! / あ、来た! [言い切り]
- c. 素敵な花! [修飾節一名詞]
- d. きれいなこと! [こと]
- e. なんて美味しいんだろう! [何と…だろう]
- f. 彼には何度注意するよう言ったことか!  
[程度・数量の疑問詞 …ことか]
- g. 君が来てくれるなんて! [なんて/とは]
- h. かわいいなあ! [終助詞「なあ」]

安達(2002:107)

## (4)古典語

- a. 妙なる笛の音かな。
- b. あはれの物語や。
- c. 夜の短くて明くるわびしさ。  
(以上、山田孝雄『日本文学概論』)
- d. うたて匂の袖にとまれる (古今集)
- e. 今宵は十五夜なりけり。(源氏物語)

## (5)感嘆文のイメージ



## 2. 研究史

### (6) 主な研究

観点	対象	文献
モダリティ論	感嘆のモダリティ	日本語記述文法研究会編(2003)など
喚体句論	感動喚体句	斉藤・大木(2010)など
コミュニケーション論	感動詞、応答詞	友定編(2015)など

### (7) 疑問点

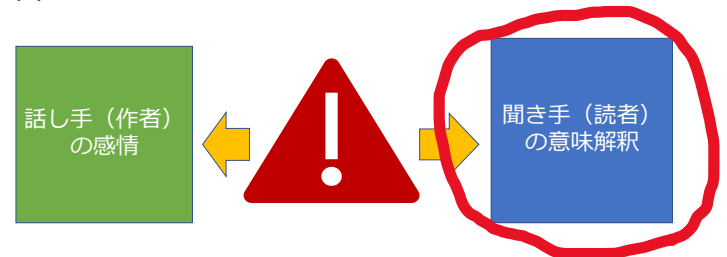
① 感嘆文は疑問文とどういう関係があるのか

② 程度表現は、感嘆文とどう関わるのか

③ 名詞は、本当に感嘆文の中心なのか

個別形式、定型表現の記述だけでなく、  
感嘆文の成立条件や仕組みについても  
考えてみるべきでは？

### (8) 研究の基盤



### 3. 「しづ心なく花の散るらむ」



(9) 桜の花の散るをよめる

久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ

紀友則

訳：日の光がのどかに照っている春の日に、どうして桜の花はあ  
わただしく散っていくのだろう。

(小町谷照彦訳注『古今和歌集』、ちくま学芸文庫)

(10)特徴

- ・『古今和歌集』（平安初）、後に『百人一首』に入集
- ・古来から解釈が蓄積されている
- ・助動詞「らむ」の研究で注目  
cf.本居宣長「「かな」の意にかよふ「らむ」」
- ・感嘆形式（助詞、助動詞など）がない
- ・疑問詞を補い、理由疑問文にして解釈している
- ・ただし、解答要求性はない（反語と類似）

(11)古注(中世～近世)

a. **なにとて**花はしづかなる心もなくちりゆくらん [色紙和歌]

b. **さて何とて**と云字をそへてみるが口伝也 [幽斎抄]

c. **何とて**かくはてふ疑ひの心おのづからこもれり [宇比麻奈備]

d. **ドウ云事**デ花ハ此ヤウニサワサワト心ゼウシウチルコトヤラ  
[古今集遠鏡]

cf.島津忠夫・上條彰次編『百人一首古注抄』

〈感嘆〉は、どこから生じるのか？

(12)推論

規範

のどかな春の日に桜は散らないものだ



事態

のどかな春の日なのに桜があわただしく散っている



感嘆

どうして、あわただしく散っているのだろう！

4. 「なんて暑い日なんだろう！」



(13)疑問詞

- ・「ナンテ」は疑問詞「ナニ（何）」に由来。

「ナニトテ」→「ナニト」→「ナント／テ」

cf.山口(1990)、深津(2018)

- ・「ナニ（何）」は、古代～現代で理由疑問を表す。
- ・「なんて～だろう」は、疑問文の形式

## (14)形容詞

- ・「暑い日」(形容詞+名詞) cf.喚体句
- ・形容詞は情意・評価に偏る cf.尾上(2001)、近藤(2019)



「暑い」は、気温が標準より高いという**評価**を表す。  
cf.飯田(2019)

## (15)推論

規範

(この時期の) 標準的な気温はX度である



事態

今日はX度を大きく超えている



感嘆

なんて、暑い日なんだろう!

## 5. 「あ、ブレーキ踏んでた!」



(16)ドライブに行こうと皆で車に乗り込んだところ、車が動かない。キーは刺さっているか、燃料はあるかと、原因を探るうちに、一人が気づく。なんと、運転者席にすわっている者が、アクセルペダルと間違えてブレーキペダルを踏んでいるのである。一略「あ、ブレーキ踏んでた」と、「～た」の形で言えるのは、基本的に、運転手だけである。

定延編(2020:11)より

## (17)推論

規範

アクセルを踏むと、車が進む



事態

アクセルを踏んだのに、車が進まない



理由疑問

どうして、車が進まないんだろう？



感嘆

あっ、ブレーキ踏んでた！

感嘆文の成立には、推論が関わる

## (18)典型的パターン

普通はXなのに、現実にはYである。

規範と事態  
のギャップ

## (19)ギャップの記述

a. 「…ノ二は、既の実現した事態と、話し手が望む事態との間に乖離があることを指摘するものであった。」渡部(1995:561)

→「推論的逆接」

b. 「話者が食い違いを認識している」前田(2009:206)

c. 「程度が話し手の予想と大幅にずれているという気持ちを表す」肖(2016:66)

## 感嘆補助系

(20)程度表現

- a. 「げにいとめづらかなることかな」 (源氏・手習)
- b. いとあはれに悲しく心深きことかな (源氏・帚木)  
(以上、西田2012:17)
- c. 昨日はよく降ったなあ。(日本語記述文法研究会2003)
- d. お客さん、たくさん来たなあ。(同)
- e. 百点とれたからめっちゃうれしい! 『関西弁事典』

(21)時間表現、比較表現

- a. もう着いた!
- b. まだ来ないの!  
cf. 「現実と想定のずれを示す標識」(金水2000:76)
- c. いつの間に!
- d. 去年よりずっときれいになった! (『なごり雪』)

規範と事態のギャップを際立たせて、

聞き手の〈感嘆〉解釈を補助する表現

## 6. 感嘆文と思考





## (22)関連分野

- 言語哲学：「規範」「理由」「推論」  
ブランドム「推論主義」「規範的語用論」
- 心の哲学／心理学：「事物の認識」  
スタノビッチ「二重システム（過程）理論」

## (23)「理由」をめぐって

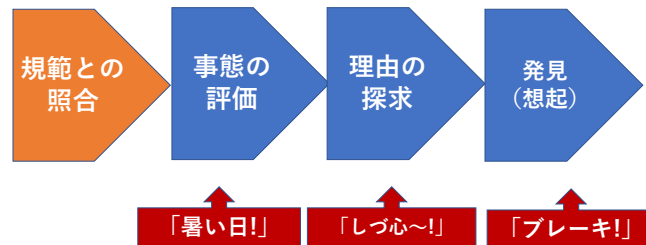
・「私たちは「理由の空間」に住んでおり、「理由を与え求めるゲーム」としての規範的な「言説的实践」を営んでいる。……私たちは毎日のように**理由のやりとり**をしている。」

白川(2021:80)

・「何かを主張することは他の主張に理由を与えることになる。主張によって、**理由と帰結の関係**が構成されるのだから、何かを主張することは、何らかの推論をつくり出すことでもある。このように、主張と推論は密接不可分である。」

白川(2021:110)

## (24)思考の流れ



感嘆文は、思考の流れと関係づけられる

(25)疑問点に対して

①疑問文との関係は？

→理由疑問文は思考の一段階であり感嘆文の基点となる。

②程度表現の関わりは？

→規範とのギャップを際立たせ、〈感嘆〉解釈を補助する。

③名詞が中心か？

→事態の評価では形容詞が中心。再検討課題。

参考

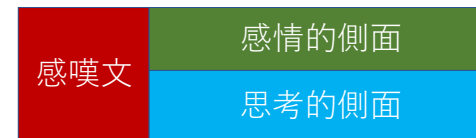
(26)「二重システム（過程）理論」（スタノビッチ）

システム1	システム2
素早く自動的に働くが間違いやすい	時間と労力がかかるが、物事を正確に捉えられる
例「へび!」（縄の場合もある）	例「なんで／どうして～!」「そうか!」
↓	↓
<b>非推論系感嘆文</b>	<b>推論系感嘆文</b>

7. おわりに



(27)感嘆文の2側面



## 結論

- (28)ある種の感嘆文には推論が潜在しており、**規範と事態のギャップ**が〈感嘆〉を生じさせる源泉となる。
- (29)感嘆文は、ギャップの理由に合理的説明を与えようとする**思考の流れ**と関係づけることができる。
- (30)感嘆文には、感情的側面だけでなく**思考的側面**もある。この観点からの研究が必要である。

## 主な参考文献

- 安達太郎(2002)「現代日本語の感嘆文をめぐって」『広島女子大学国際文化学部紀要』10.
- 尾上圭介(2001)『文法と意味Ⅰ』くろしお出版.
- 北原保雄(1996)『表現文法の方法』大修館書店.
- 金水敏(2000)「時の表現」『日本語の文法2 時・否定と取り立て』岩波書店.
- 近藤要司(2019)『古代語の疑問表現と感動表現の研究』和泉書院.
- 斉藤倫明・大木一夫編(2010)『山田文法の現代的意義』ひつじ書房.
- 定延利之編(2020)『発話の権利』ひつじ書房.
- 肖海娜(2016)「『形容詞+名詞』による発見・感嘆表現の日中対照」『日本語文法』16(1).
- 友定賢治編(2015)『感動詞の言語学』ひつじ書房.

- 西田隆政(2012)「『詠嘆』の終助詞「かな」再考」『武蔵野文学』60.
- 日本語記述文法研究会編(2003)『現代日本語文法4 モダリティ』くろしお出版.
- 深津周太(2018)「近世における副詞「なんと」の働きかけ用法—感動詞化の観点から—」藤田保幸・山崎誠編『形式語研究の現在』和泉書院.
- 前田直子(2009)『日本語の複文 条件文と原因・理由文の記述的研究』くろしお出版.
- 山口堯二(1990)『日本語疑問表現通史』明治書院.
- 渡部学(1995)「ケド類とノニ」宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法(下) 複文・連文編』くろしお出版.

## [哲学・心理学関係]

- 飯田隆(2019)『日本語と論理』NHK出版.
- 飯野勝己(2007)『言語行為と発話解釈』勁草書房.
- 白川晋太郎(2021)『ブランドム 推論主義の哲学』青土社.
- 信原幸弘・太田紘史(2014)『シリーズ新・心の哲学Ⅰ 認知篇』勁草書房.
- バレット(2019)『情動はこうしてつくられる』紀伊國屋書店.
- ブランドム(2020)『プラグマティズムはどこから来て、どこへ行くのか(上・下)』勁草書房.
- 三木那由他(2019)『話し手の意味の心理性と公共性』勁草書房.

## 文献追加

古川大悟(2023)「ベシの多義性の原理について：現代語ハズダとの対照から」『花園大学日本文学論究』15.  
松本朋子(2004)「中世室町期を中心とした「いかなる」と「何たる」の様相」『和漢語文研究』2,京都府立大学.  
松本朋子(2005)「中世室町期を中心とした「いかに」と「何と」の様相」『和漢語文研究』3,京都府立大学.  
宮地裕(1979)『新版 文論』明治書院.  
カーネマン(2014)『ファスト&スロー（上・下）』早川書房.

これで発表は終わりです。

御清聴、ありがとうございました。

## 付記

本研究は、科学研究費・基盤研究C（21K00545）「構成要素配列に基づく中古語疑問文の体系的記述」（研究代表者：高山善行）の研究成果によるものである。